

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		070304 障害児通所支援事業		担当部課	部課コード	070300	2998-9223	
事業コード		070304		子ども福祉課				
開始年度		平成 24 年度		終了年度	年度			
グループ		障害児支援担当						
事業の概要	事業の種類別	自治事務 法定受託事務 法定受託 + 附加			根拠法令			
	分野別計画・指針	所沢市障害者支援計画、所沢市子ども・子育て支援事業計画			児童福祉法			
	関連・類似事業	介護給付費事業(障害児)、障害児地域生活支援事業						
	総合計画の体系	章	健康・福祉	節	子ども支援	基本方針	子育て家庭の支援の充実	
事業開始の背景	平成24年4月の改正児童福祉法の施行に伴い、障害児の通所支援にかかるサービスが障害児通所支援となった。							
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に) 身体に障害のある児童、知的障害のある児童または精神に障害(発達障害を含む)のある児童を対象に、日常生活における基本的動作の指導、集団生活への適応訓練等を行う。							
	対象(誰を、何を対象としているのか) 18歳未満の身体・知的・精神(発達障害を含む)障害児のうち、障害児通所サービスの支給決定を受けているもの。		対象数	単位	平成 26 年度	408	人	
					平成 27 年度	503	人	
	事業の具体的な内容及び実施方法 (内容) 児童福祉法に基づき指定を受けた通所支援事業所において、未就学の障害児が、日常生活の基本動作の訓練等を行う児童発達支援を受けた場合や、就学後の障害児に対し放課後等に集団生活訓練等を行う放課後等デイサービスを受けた場合等に、児童福祉法に基づく給付費を支給する。 (実施方法) 市は、保護者の申請に基づき、障害児個々の支援の必要性を把握して、支給決定を行い、受給者証を交付、通所費用の9割相当を障害児通所給付費として事業所等(代理受領)に支給する。							
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)		
	予算現額			346,487	626,270	666,000		
	決算(見込み含む)			346,487	579,625			
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。		
	正規職員人件費	0.67 人	5,843	0.85 人	7,361			
	事業費合計			352,330	586,986			
財源内訳	一般財源			110,760	153,095	166,500		
	国・県支出金			241,570	433,891	499,500		
	その他()			0	0	0		
実績	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
	活動実績	年間延べ利用人数	実績	人	4,650	6,776	7,600	7,600
成果	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
	成果指標	年間延べ利用人数	実績	目標値	2,784	4,836	7,600	7,600
				実績	4,650	6,776	<input checked="" type="checkbox"/> 実績 拡大図る <input type="checkbox"/> 実績 縮小図る	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	167	140	どちらかをチェックしてください	
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析			
	市内障害児通所支援事業所の活動内容や手続等を冊子にまとめた利用案内を作成した。子ども福祉課窓口に配架するとともに、市のホームページに掲載しており、保護者等から好評を得ている。							
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	理由	事業実施に関する研修会等を開催し、通所支援事業所の質の向上を図る。また、県と連携を密にし、新規開設を予定している事業所の情報を適時把握し、適切な利用に向けて利用者への情報提供を行っていく。			
		方 向 後 性 の			<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由 障害児通所支援事業所の増加に伴い、利用者が増加しているため。		
備	(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性			
	障害児通所支援事業所連絡会を開催し、事業の実施に必要な情報提供を行い、ネットワークの構築を図っている。				本事業については、潜在的なニーズも多く、利用者の増加が見込まれるため、利用者への情報提供に努める。また、事業実施に関する研修会等を開催し、通所支援事業所の更なる質の向上を図る。			
評価日	H28.8.18		評価者職氏名	子ども福祉課長 市来 広美				
環境影響	有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動	紙の使用		規制を受ける環境法令等	無
							緊急事態	無